

やかまし村を歩く

どこを見ても手作りのモノで溢れている自然に囲まれた静かな空間。

「やかまし村」だけ「静か」。

だけ「楽しくて温かい場所」。

それぞれが様々なことをしながらも、人との繋がりは大切に。

そんな素敵な場所がここにある。



家具工房 CLAP

手作りの家具屋。なんといっても店主の山本さんが素敵な人。フレンドリーで、やかまし村の中心的な存在と言っても過言ではない。店内にある子供と一緒に座ることのできる椅子は、滑らかなカーブと直線で職人の技の丁寧さや、細やかな配慮を感じられる。庭先では養蜂もしており、そこで採れた蜂蜜をご近所にお裾分けするうちに、養蜂をする人が増えたそう。



カヤガーデンクラフト

寺田さんご夫妻手作りの庭と、ガーデンハウスがある。プライベートな庭を一般にも開放しており見学できる。ガーデンハウスには、手作りの巣箱や庭ができるまでの軌跡を綴った資料や写真がいっぱい。巣箱は、見学者の「売ってほしい」という要望から販売もしている。地域の人々たちが集まり、パーティーを行うなど、憩いの場としても使われている。



酒みせ ちきゅう屋

お酒を通して人との繋がりが幸せを届けている酒屋。全国の地酒と珍しい九州の焼酎、世界のワインを取り扱う。落語会などのイベントも行われていて、コミュニティの場にもなっている。ゼリー状の梅酒など珍しいお酒もあり、お酒が苦手な女性にもお勧めの場所だ。1本1本に手書きで心が込められたメッセージカードが付いている。店内にはお客さんから届いたお手紙も展示されていて、人との繋がりが温かみを感じられる酒屋だ。



やかまし村とは

糸島市志摩地区には「やかまし村」と呼ばれている小さな集落がある。工房やDIYが好きな人が集まり、休みの日でも機械の音がしたそう。周りの人が「いつも機械の音がうるさいね」と言い始めたことが「やかまし村」の由来だ。移住者が多いにもかかわらず近所付き合いを大切にしている。緑が溢れ、鳥の声、木の葉の揺れる音が聞こえるやかまし村は、私達が日々忘れかけている「人との繋がり」を感じさせてくれる集落だ。

手作りの看板とマップ



手作りの速度制限の標識。やかまし村は道が狭いため、子供達の安全を考えてこの手作り感溢れる標識が作られた。他にもお店の行先を示す案内板がある。



やかまし村の手作りマップ。

やかまし村らしさや温かみを感じることができる。村を訪れたら、ぜひ見つけて欲しい。

マップの制作について

九州産業大学地域共創学部観光学科3年の観光まちデザイン論の受講者である西嶋、野見山、樋口、山元が製作しました。やかまし村の「人」の魅力に触れてもらいたいという思いから冊子を作成しました。ぜひ、このマップを持ってやかまし村を散歩してほしいです。